

KTF



当社外観

- 本社所在地：京都府城陽市
- 事業概要：各種精密板金・製缶加工、レーザー加工を主軸とした製作および組立
- 常時使用する従業員：59名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：19億円
(2026年3月期)
- 法人番号：4130001038378
- Web：https://kyoto-ktf.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
奥田 孝太

「魅せる工場」で、日本のものづくりを再加速させる

私は、かつて世界首位を争った「MADE IN JAPAN」のものづくりが後退している現状に強い危機感を抱いています。残念ながら当社には製品をゼロから開発する知識や財力はありませんが、長年培った高度な精密板金技術とノウハウがあります。単なる下請けで終わるのではなく、メーカー様と一丸となって日本のものづくりを再加速させることが私たちの責務です。新工場建設による自動化量産体制の構築と組立領域への進出を果たし、地域社会と産業を力強く牽引する100億円企業へと成長してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、成長を遂げる。売上規模の拡大に留まらず、特定分野への売上依存から脱却し、半導体・ロボット・工作機械・インフラ等の複数事業の柱を確立させることで、単なる部品加工業から総合精密板金・モジュール組立メーカーへの事業構造転換を実現する。

課題

- ・既存工場の物理的なキャパシティ不足に伴う、新規大口量産案件の受入限界
- ・特定分野に対する売上依存度の高さと、それに伴う市況の変動リスク
- ・職人の手作業に依存した従来の多品種少量生産モデルにおける、人手不足の深刻化および生産性向上の頭打ち

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・第2工場隣接地への新工場建設と、パンチレーザー複合機・ロボットベンダー等の導入による夜間無人稼働可能な「自動化・省力化ライン」の構築
- ・ロボット・工作機械分野への多角化とシェア拡大
- ・単なる板金加工から組立受託の領域拡大による製品の高付加価値化および高単価化の実現
- ・近隣の優良な板金・表面处理企業等のM&Aを実施し、材料調達から組立までを完結する完全一貫生産体制の構築

実施体制

- 社内体制
 - ・多品種少量生産と量産の機能を明確に切り分け、自動化を推進
 - ・高度な自動化設備を運用するための技術者の計画的な採用および社内教育の強化
- 社外体制
 - ・金融機関との連携、成長資金の安定的な調達体制の構築
 - ・協力先向上と自社の自動化ラインを融合させた柔軟かつ安定的な生産・供給体制の構築